

株式の情報

(2021年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	39,207,862株
株主数	22,089名

大株主

小数点以下第3位切り捨て

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
守本 正宏	6,935,900	17.69
株式会社フォーカスシステムズ 代表取締役社長 森 啓一	3,637,420	9.27
池上 成朝	2,719,800	6.93
楽天証券株式会社 代表取締役社長 楠 雄治	543,800	1.38
株式会社SBI証券 代表取締役社長 高村 正人	520,600	1.32
株式会社学研ホールディングス 取締役社長 宮原 博昭	391,600	0.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 取締役社長 成瀬 浩史	343,800	0.87
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口) 代表取締役社長 田中 嘉一	252,400	0.64
マネックス証券株式会社 代表取締役 清明 祐子	215,768	0.55
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	182,724	0.46

会社情報

(2021年3月31日現在)

商号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設立	2003年8月
資本金	2,973,975千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従業員数	315名



株主メモ

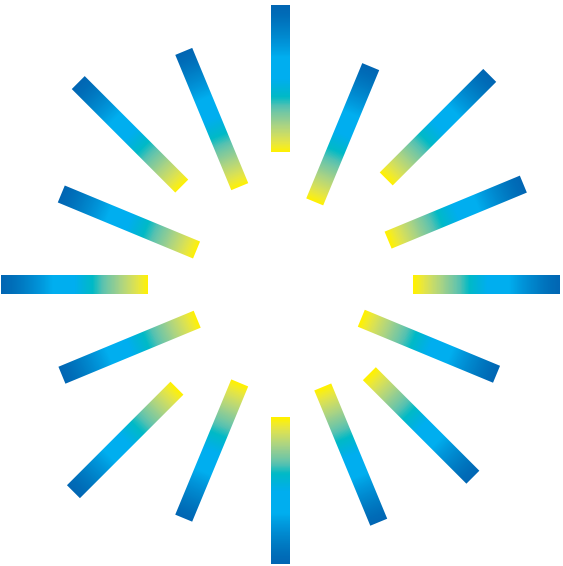
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ(2007年6月27日上場)
銘柄・証券コード	株式会社FRONTEO、2158
株式の売買単位	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.fronteo.com/ir/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページからご確認ください。 https://www.tr.mufig.jp/daikou/

役員

(2021年3月31日現在)

代表取締役社長	守 本 正 宏
取締役副社長	池 上 成 朝
取締役 最高技術責任者	武 田 秀 樹
取締役 CFO	上 杉 知 弘
取締役	山 本 麻 理
取締役 ^{*1}	舟 橋 信
取締役 ^{*1}	桐 澤 寛 興
常勤監査役 ^{*2}	須 藤 邦 博
監査役 ^{*2}	安 本 隆 晴
監査役 ^{*2}	大 久 保 圭

※1 社外取締役 ※2 社外監査役



FRONTEO

FRONTEO通信

2021年3月期 事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

トップメッセージ

各事業部のハイライト

トピックス

業績ハイライト

株式会社FRONTEO

証券コード：2158

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」という企業理念のもと、独自開発の言語系人工知能(AI)エンジンを柱とするソリューションを提供し、さまざまなフィールドにおける社会課題の解決に貢献してまいりました。

わが国では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済全体は大きなダメージを受けておりますが、一方で各産業においてDX(デジタルトランスフォーメーション)投資は増大しており、人が行う作業をデジタル化することで業務を効率化し、高度化するAI製品の需要は急激に増しております。

当社グループでは現在、お客様の業務プロセスにAIを実装してきたフロントランナーとして、真のAI企業への変容を目指し、AIを主体としたビジネスモデルへの転換を推し進めております。2021年3月期においては、DXの流れを追い風にポートフォリオトランスフォーメーションが奏功し、AIソリューション事業の売上高、リーガルテックAI事業のAI案件の売上高が大幅に成長いたしました。

新たなコア事業となったライフサイエンスAI分野では、「会話型 認知症診断支援AIプログラム」について独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に治験届を提出し、2021年4月より臨床試験を開始いたしました。世界初の言語系AI医療機器としての承認・上市に向けて着実に開発が進展しております。また、創薬支援AIシステムの製品普及も進捗しており、企業のみならず、アカデミアでも導入が進みました。

企業のデジタル化の影響が大きいビジネスインテリジェンス分野では、規制遵守を目的としたAIソリューションの導入を始めとして、企業の複数部門で当社のAI製品群の浸透が進んでおり、金融分野においては複数の大型案件の獲得に繋がりました。

また、リーガルテックAI事業では、ポートフォリオトランスフォーメーションの要であるAIレビューツール[KIBIT Automator]を活用した案件の受注が着実に積み上がりました。

さらに、経済安全保障分野においても、情報分析ソリューションの提供を開始しています。近年、最先端技術のデュアルユース(軍民両用)が急激に加速したことにより、経済安全保障に対する政財界での関心が高まっております。当社はオープンにされている情報を収集・分析することで企業間/株主間/研究者間のつながりを可視化し、チョークポイントを見つけ出すことによって、非常に複雑な世界の状況を把握し、経済安全保障における戦略の立案・実行に貢献します。

当社グループは今後も、独自のAI技術によって各産業のDXを推進し、業務課題のみならず、社会課題の解決に取り組むことで、事業の飛躍的な成長を目指し邁進いたします。株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社FRONTEO
代表取締役社長

宇田 浩

当社が独自開発した自然言語解析AIエンジン「Concept Encoder(コンセプト・エンコーダー)」は、論文や電子カルテといった複雑かつ専門性の高いテキスト情報を特殊なアルゴリズムにより解析します。この技術を最大限に活用し、医療従事者の負荷軽減や業務の効率化、高齢者や患者のQOL向上に貢献できるよう、さまざまな製品を研究・開発・販売しています。

デジタルヘルス

会話型 認知症診断支援AIプログラム

2021年4月26日、会話型 認知症診断支援AIプログラムの臨床試験を開始いたしました。言語系AI技術を活用したAI医療機器はどの国においても承認されておらず、正式に薬事承認となれば世界初の言語系AI医療機器となります。

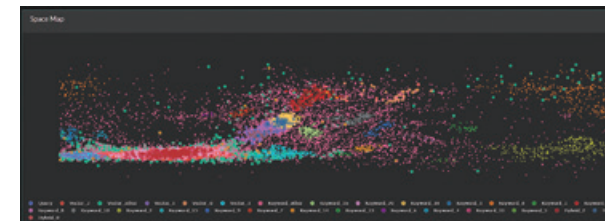


ドラッグディスカバリ

仮説検証をスピードアップ。効率的な創薬研究を支援します。

論文探索AIシステム「Amanogawa」

膨大な論文情報を即時検索・分析。創薬プロセスを抜本的に変革



創薬支援AIシステム「Cascade Eye」

創薬研究におけるターゲット探索を支援

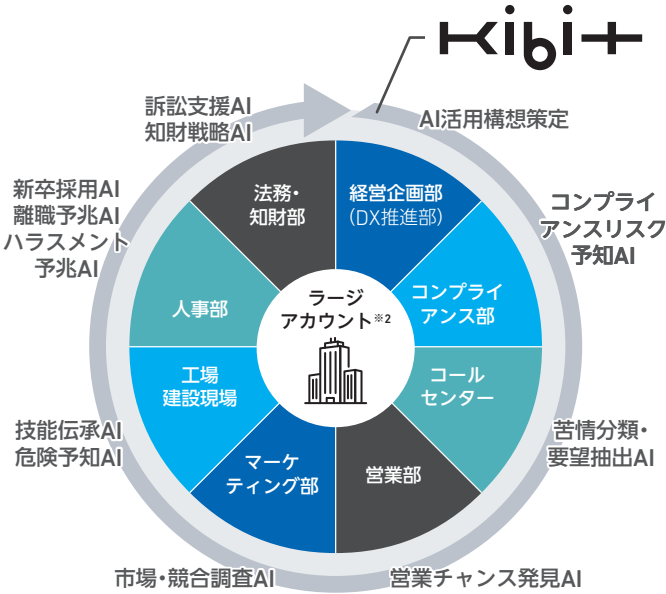


DX × 自然言語

ボトルネックとなりやすい
言語分野における企業のDX推進を支援

人手不足、働き方改革の推進などにより、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)が加速しています。それにより、人が行う作業をデジタル化することで業務を効率化し、高度化できる当社のAI製品に注目が集まっています。

特に金融分野では、2018年5月実施の金融庁「FinTech実証実験ハブ」※1にて当社のAI(KIBIT)の信頼性が客観的に確認されてから、コンプライアンスチェック業務におけるKIBIT活用が進み、本年度においては全メガバンクにKIBIT製品が導入されたほか、複数の大型案件の獲得などの成果がありました。



導入企業一覧



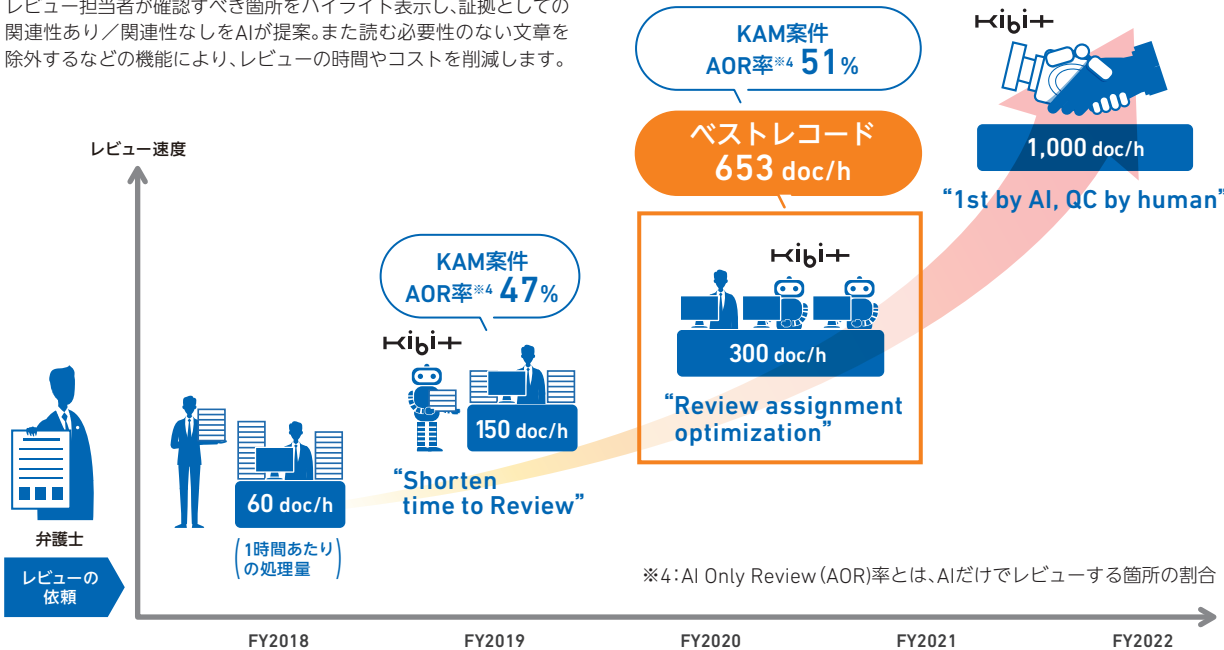
※1 金融庁「FinTech実証実験ハブ」 FinTechを活用したイノベーションに向けたチャレンジを加速させる観点で金融庁が設置。FinTech企業や金融機関等が、前例のない実証実験を行う際、に抱きがちな躊躇・懸念を払拭することを目的としている。

※2「ラージアカウント」 従業員数5,000人以上の企業

AIレビューツールKIBIT Automatorで品質を犠牲にすることなくレビュースピードの向上を実現

リーガルテック分野においても、AIを主体としたビジネスモデルへの転換が確実に進みました。従来のレビューと比較し、利益率の高いKIBIT Automator (KAM) ※3を活用した案件数を順調に積み上げました。

※3: KIBIT Automatorはレビューの大部分の自動化を可能にします。レビュー担当者が確認すべき箇所をハイライト表示し、証拠としての関連性あり／関連性なしをAIが提案。また読む必要性のない文章を除外するなどの機能により、レビューの時間やコストを削減します。



※4: AI Only Review (AOR)率とは、AIだけでレビューする箇所の割合

ポートフォリオトランスフォーメーションにより成長の基盤を強化

従来型のビジネスからAIレビューツール「KIBIT Automator」を活用した案件へと売上構成の主軸を転換するポートフォリオトランスフォーメーションの過渡期にあります。「KIBIT Automator」の利点をeディスカバリ市場、フォレンジック市場において訴求することで受注確度の向上を目指し、成長の基盤を強化していきます。

FRONTEO Legal Link Portal

リーガルテック分野について、業界の専門家、有識者による情報発信を目的とした会員制ポータルサイト「FRONTEO Legal Link Portal」を開設しました。企業の法務担当者、管理部門担当者、情報システム部門担当者などに有益な情報を動画で配信しています。



FRONTEO AI Innovation Forum 2020

前年に続き2回目となるFRONTEO主催のプライベートカンファレンス「FRONTEO AI Innovation Forum 2020」を2020年10月27日にオンラインで開催しました。AIの活用により成果をあげるための課題やノウハウをテーマに、当社や関係企業のスピーカーによる講演を行い、全講演を通じて約1,700名の方にご参加いただきました。



デジタルフォレンジック・ディスカバリーAI白書2020

米国のディスカバリ業界の現況と、AI活用に関する法務関係者へのアンケート調査の結果を白書にまとめ、そこから得られたインサイトについても紹介しています。



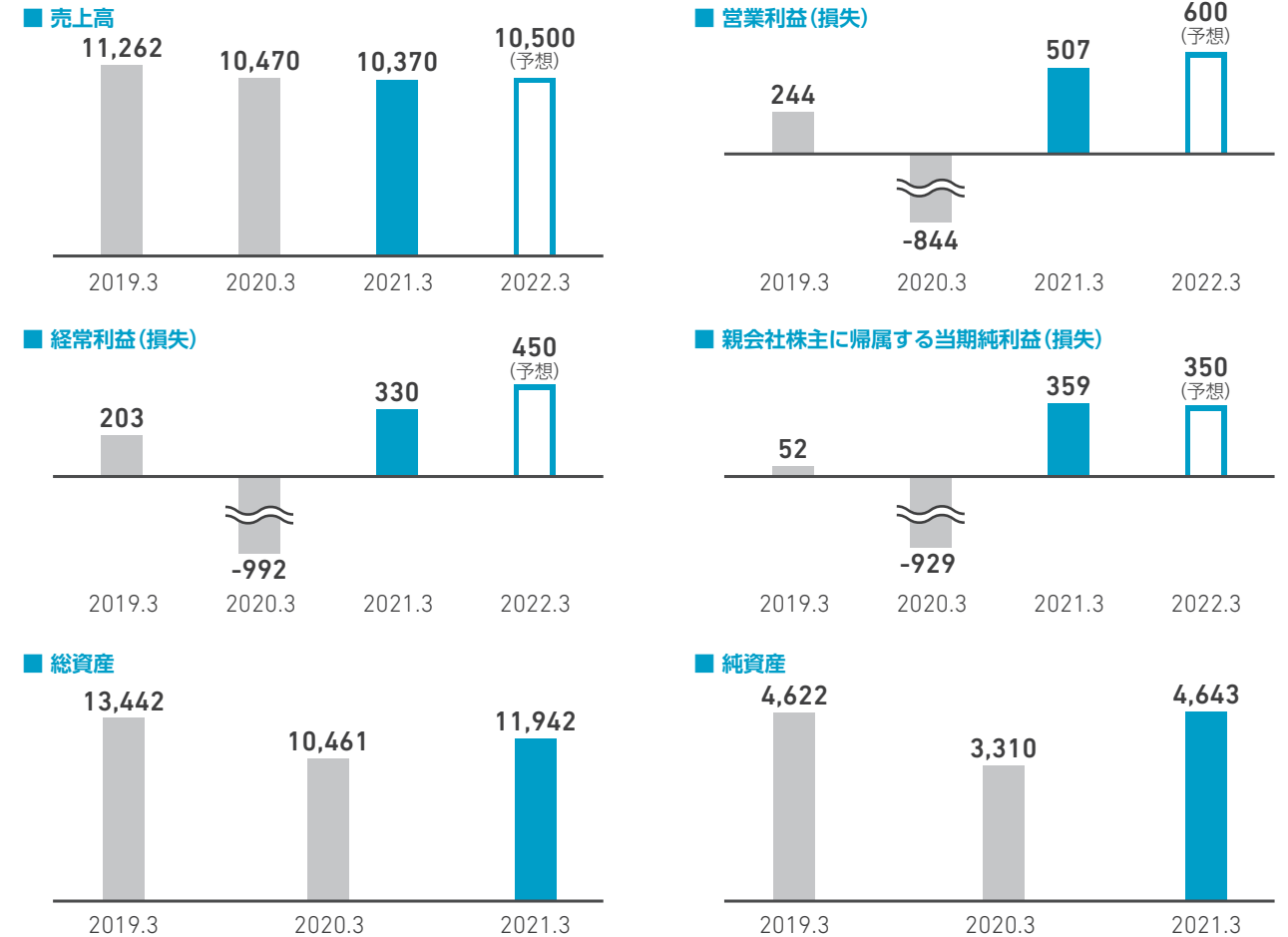
FRONTEOが編著を務めた『リーガルテック活用の最前線』

AI・IT技術で何ができるのか、業務はどう変わるのか？リーガルテックを例にAIの最新活用事例を紹介した『リーガルテック活用の最前線』が株式会社ぎょうせいから出版されました。



連結業績ハイライト

(単位:百万円)



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報をご覧になります
<https://www.fronteo.com/ir/>
FRONTEO IR 検索

